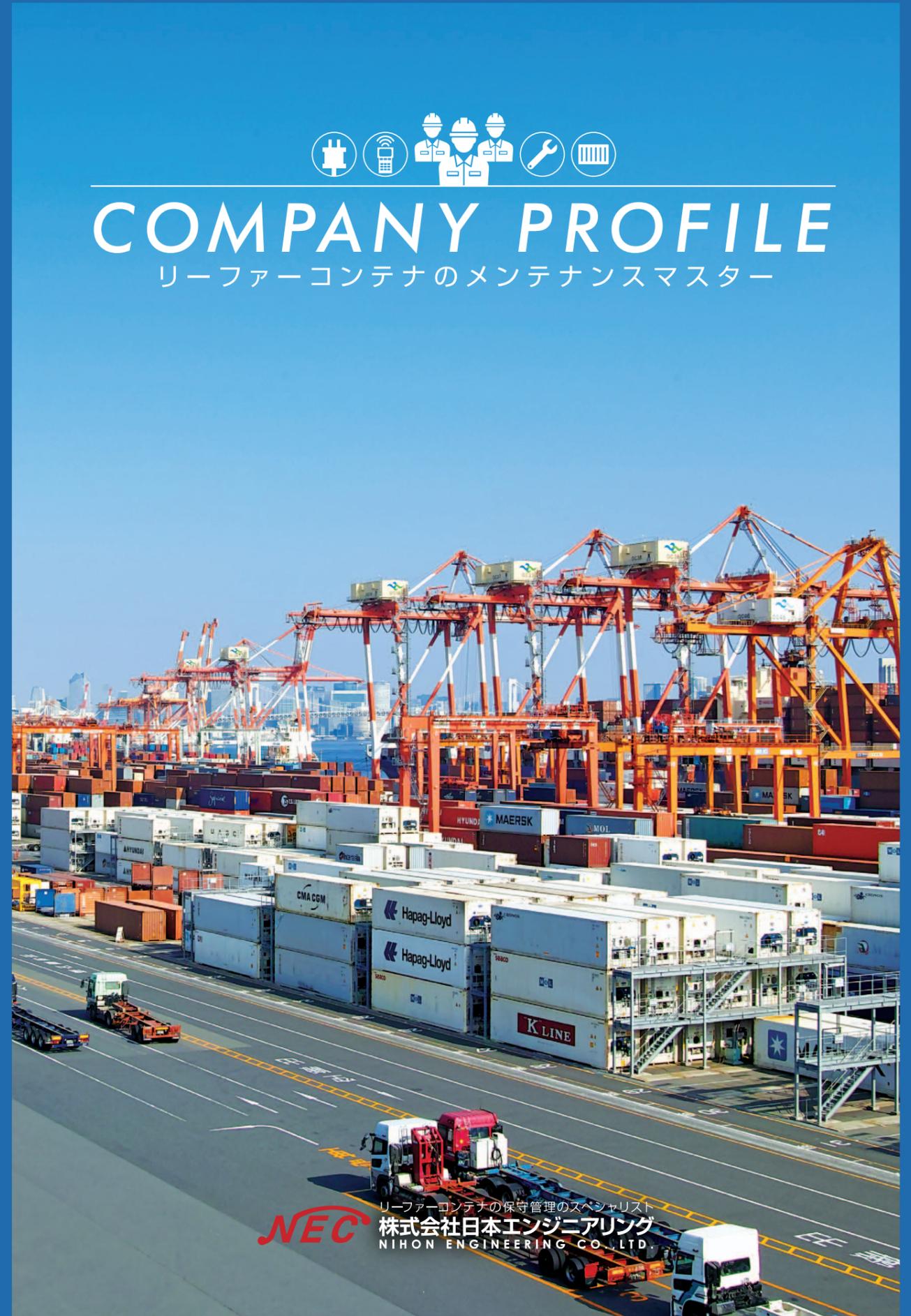
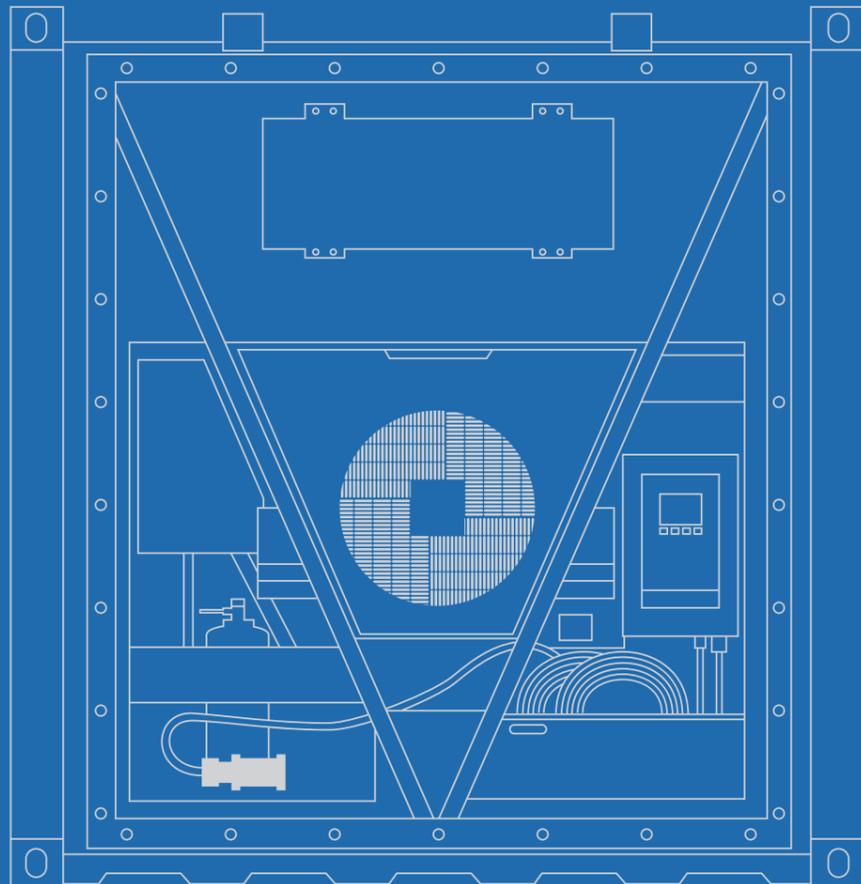




COMPANY PROFILE

リーファーコンテナのメンテナンスマスター

リーファーコンテナの保守管理のスペシャリスト
NEC 株式会社日本エンジニアリング
NIHON ENGINEERING CO., LTD.
www.nihonengineering.com



リーファーコンテナの保守管理のスペシャリスト
NEC 株式会社日本エンジニアリング
NIHON ENGINEERING CO., LTD.

世界の美味を堪能できるワケ。

貿易立国日本にとって、港湾機能の高度化と物流機能の円滑化は何よりも重要です。

いうまでもなく、私たちの豊かで便利な暮らしは、

世界中で生産されるさまざまな物資のお陰といっても過言ではありません。

中でも、日々の生活に欠かせない飲料や食料など、

世界中から、その鮮度・美味しさを保ったまま手に入れることができるのは、

革新的な物流システムとノウハウに支えられているからです。

また、生鮮品だけでなく医薬品や精密機器等温度、湿度で品質に影響のある貨物など、

それぞれのモノに最適な管理を可能にする、

“リーファーコンテナ”の果たす役割は多大です。

日本エンジニアリングは、広大なコンテナターミナルに集積された

すべてのリーファーコンテナを適正な状態に保つため、

その保守管理サービス・関連業務を専門に行っています。

リーファーコンテナの利用ニーズは今後ますます高まりつつあります。

私たちは、技術力を生かし、便利で豊かな生活の一端を担っています。



BUSINESS GUIDE

豊富な知識とノウハウ、正確・迅速な対応と技術でリーファー コンテナを守ります。

長年にわたる豊富な知識とノウハウ、正確・迅速な対応、高い技術力により、リーファーコンテナの電源脱着管理、温度モニタリング報告や冷凍ユニットの修理業務に携わるとともに、お客さまのご要望にきめ細かく対応し高い評価と信頼をいただいております。

リーファー（冷凍）コンテナユニットの保守管理サービス

リーファーコンテナ電源プラグの脱着業務

コンテナ船着岸とともに、本船上で陸揚げするリーファーコンテナの電源プラグを速やかに外します。コンテナターミナル内に陸揚げされ指定ヤードにスタックされると即座にプラグをつなぎます。そして搬出の際に再びプラグを外します。これら一連の作業は、コンテナ内に大切な貨物が積載された状態であるため、タイムリーかつ確実な作業が必要とされます。外し忘れやつなぎ忘れなど間違いが無いよう、正確さとスピードが求められます。



リーファーコンテナの温度モニタリング・不具合箇所の事前チェック

陸揚げされヤードにスタックされたリーファーコンテナは、搬出若しくは船積みまで専門のモニタリングスタッフが朝・昼・夕、一日3回にわたり必要な全てのコンテナのモニタリングを行っています。これにより温度確認をはじめとして不具合の兆候の有無も含め把握でき、きめ細かいリーファーユニットの管理が可能となります。これによりトラブルを事前に発見して貨物がダメージを受けることを防ぎ、品質保持が可能となります。

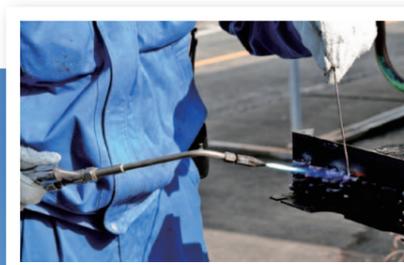
故障リーファーユニットのトラブルシューティング・修理

リーファーユニットに故障が発見された場合には、発見したモニタリングスタッフが直ちに修理を行います。実入りコンテナで、温度上昇などの弊害を防ぐ限られた時間のなか、高度で的確な技術が求められます。ここでも当社の熟達したスタッフが正確なトラブルシューティングを行い、原因を特定させてそれに合った的確な部品の交換や修復など必要な修理業務を速やかにこなしていきます。豊富な経験に基づく当社の修理技術は相互に共有することで切磋琢磨され、さらに修理技術の経験値として蓄積されその後の修理に反映されていきます。

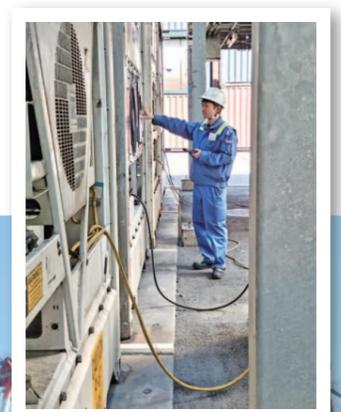
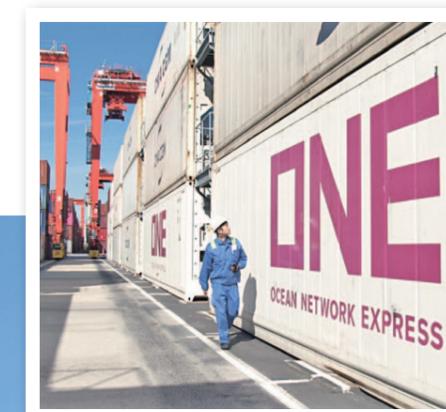
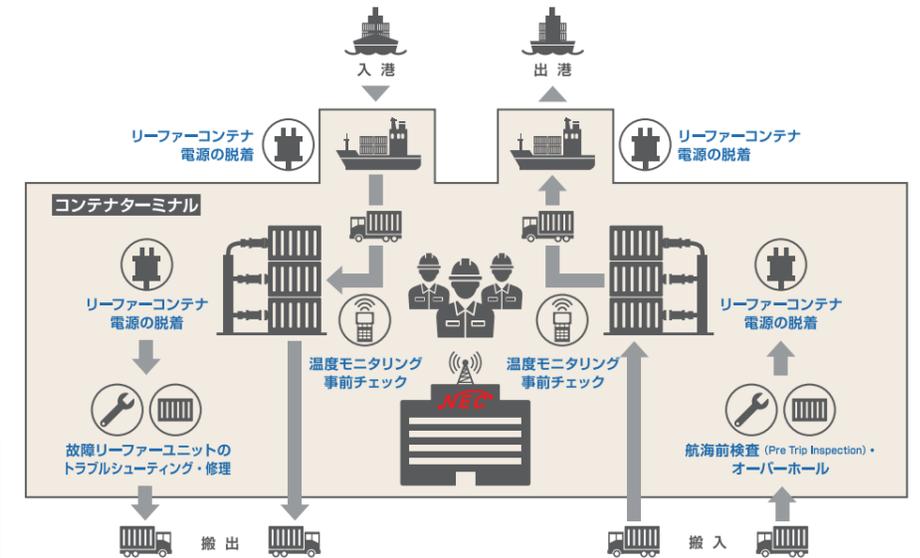


リーファーコンテナの航海前検査 (Pre Trip Inspection) ・オーバーホール

ヤードから搬出され、配送先から戻ってきた空のリーファーコンテナは、次の使用に向け、当社のPTI専門のチーム（整備チーム）スタッフが検査し、不具合があれば修理して備えます。またユニットの心臓部であるコンプレッサーの載せ替えや暗くなったディスプレイの交換などのオーバーホール等も実施しています。



業務の流れ図



おかげさまで2022年12月、 設立50周年を迎えることができました。 次の50年もお客様とともに。

高度成長期の波に乗り、経済のグローバル化、貿易の拡大は留まるところを知らず、それに伴いリーファーコンテナも増加の一途を辿ってきました。冷蔵品、生鮮品はもとより、医薬品、精密機器など、それぞれの貨物に最適な温度・湿度を保ちながら輸送するリーファーコンテナの重要性は現在においても増すばかりです。

日本エンジニアリングは、冷凍(リーファー)コンテナの保守管理を主目的として、船舶用機器を設計・製造販売していた日本コントロールス・カンパニーを母体とし1972年12月に設立されました。折しもその頃、需要が急速に拡大しつつあったリーファーコンテナを当時から現在に至るまで専門に扱うことで経験を積み、「リーファーコンテナのエキスパート」としての体制を構築してまいりました。当社は、コンテナターミナルに集積されたすべてのリーファーコンテナを適正な状態に保つため、実入りコンテナの修理だけでなく出航前検査であるPTI(プレトリップインスペクション)やユニットの温度などをモニターリングするなどリーファーコンテナのメンテナンス業務のサポートを提供しております。

そして2022年12月、弊社は設立50周年を迎えました。

これまで当社を支えていただきましたお客様ならびに関係各位諸先輩の皆様がたに、心よりお礼申し上げます。

創立50周年を機に私たちは常に「安全・迅速・正確なサービスの為のマンパワー強化と現場対応力向上」の基本に立ち返り、お客様のために何が出来るかを考え、一層の精進を続けてまいりたいと願っております。



OUR EFFORTS

お客様の事業発展と社会貢献をめざして

日本エンジニアリングは、これまでの豊富な経験により培った技術・ノウハウにより、安全・迅速・正確なサービスのご提供を通じてお客さまとの「信頼」を深め、日々たゆまぬ努力を続けることが、私たちに課せられた重要な役割だと考えています。

そのため法令を遵守し安全と地球環境への配慮を優先し、健全な事業活動を通じて従業員、お客さま、地域社会に「信頼」される企業価値を創造してまいります。

CSRへの取り組み

コンプライアンス

環境への取り組み

SDGs



当社の取り組みについての詳細はQRコードからお願いします。

リーファーコンテナの保守管理“技術集団” 日本エンジニアリングです。

会社概要		沿革	
商号	株式会社日本エンジニアリング	1972年(昭和47年)12月	冷凍コンテナのサービス会社として資本金250万円で設立 本社を東京都千代田区内神田1-11-2に置く
創立	1972年(昭和47年)12月	1973年(昭和48年)	大井埠頭・横浜本牧埠頭で冷凍ユニットの検査・保守・管理業務を開始
本社	東京都千代田区外神田2-2-18	1976年(昭和51年)	資本金400万円に増資
代表者	代表取締役社長 西原 孝俊	1995年(平成7年)	資本金1,000万円に増資
資本金	1,000万円(2023年4月現在)	1998年(平成10年)	各船会社よりCPU搭載温度制御装置のリーファーコンテナの点検修理業務の請負開始
事業内容	冷凍コンテナユニットの保守管理並びにサービス業務一式	1999年(平成11年)8月	株式会社商船三井殿より本船乗組員に対するリーファーコンテナの技術講習の要請、以後定期的に実施
取引銀行	株式会社三井住友銀行 神田駅前支店 株式会社北日本銀行 東京支店	2007年(平成19年)12月	株式会社商船三井殿より航海中の本船に対するリーファーコンテナのトラブルに関する修理案内事業の請負開始
社員数	30名(2023年4月現在)	2008年(平成20年)3月	本社を東京都千代田区外神田2-2-18に移転
主要取引先	株式会社宇徳	2012年(平成24年)3月	株式会社MOL JAPAN殿よりリーファーコンテナの技術的助言及び営業支援業務委託を請負
免許・資格	第一種・第二種・第三種冷凍機械責任者、第一種冷媒フロン類取扱技術者 第一種・第二種電気工事士ほか	2015年(平成27年)1月	代表取締役 西原聡介退任 代表取締役 西原孝俊就任
		2021年(令和3年)5月	横浜コンテナ事業部が横浜市中区南本牧1番地に移転
		2022年(令和4年)12月	会社設立50周年を迎える



アクセスマップなどはQRコードからお願いします。

事業所案内

本社

〒101-0021
東京都千代田区外神田2-2-18
東信お茶の水ビル7階
TEL: 03-5298-2131 (代表)
FAX: 03-5298-0362



本社

東京コンテナ事業部

〒140-0003
東京都品川区八潮2-3-10
東京国際コンテナターミナル内
TEL: 03-3790-0762
FAX: 03-3790-0684



東京コンテナ事業部

横浜コンテナ事業部

〒231-0816
神奈川県横浜市中区南本牧1番地
MC-1/2管理棟1階
TEL: 045-670-1812
FAX: 045-670-1807



横浜コンテナ事業部